

～小中高生の勉強に関する意識調査～

子どもが勉強のやる気を出す言葉とは？

親が妨げだと思ったことがある、4割以上！

勉強を教えて欲しい芸能人、男性は「櫻井翔(嵐)」、女性は「ローラ」！

eラーニング教材「すらら」を展開する株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)では、「勉強に関する意識調査」を小学1年生から高校3年生までの男女に実施しました。

- 1) 親に言われてやる気を無くす一言は「勉強しなさい。」、やる気が出る一言は努力を認める「勉強を頑張ってたもんね。」!
- 2) 成績アップのご褒美で欲しい物、TOP3「お金」・「おもちゃ類」・「本」!
- 3) 親が妨げ、4割以上!
- 4) 勉強で頼りにするのは「家族」より「塾や学校の先生」・「友達」!
- 5) 小中高生の隠れ勉強率3割以上!
- 6) 勉強を教えて欲しい芸能人、男性は「櫻井翔(嵐)」、女性は「ローラ」

1) 親に言われてやる気を無くす一言は「勉強しなさい。」、

やる気が出る一言は努力を認める「勉強を頑張ってたもんね。」!

親に言われると、勉強のやる気を無くす一言では「勉強しなさい。」などの「勉強を強要する言葉」が63.1%で一番多く、次いで「〇〇ちゃんは成績あがったんだって。」などの「友人と比較される言葉」(47.7%)、「だからあなたはダメなのよ。」といった「けなす言葉」(47.7%)という結果でした。

一方、やる気が出る言葉では、「勉強を頑張ってたもんね。」などの「努力を認める言葉」(38.6%)、次いで「すごいね。」などの「褒める言葉」が35.8%で一番多く、次いで「能力はあるんだから。」といった「能力を認められる言葉」(29.0%)という結果となりました。

「勉強しなさい」と言われると、勉強しようと思っていた気持ちも阻害されてしまう、といったことをよく耳にしますが、本結果においても、それが実証される形となりました。

■結果:「親に言われると、勉強のやる気を無くす一言は何ですか?」の回答(複数回答)

「親に言われると、勉強のやる気が出る一言は何ですか?」の回答(複数回答)

【やる気を無くす一言】

【やる気を出す一言】

やる気を無くす一言		やる気を出す一言	
回答項目	%	回答項目	%
1 勉強を強要する言葉 例) 勉強しなさい。	63.1%	1 努力を認める言葉 例) 勉強を頑張ってたもんね。	38.6%
2 けなす言葉 例) だからあなたはダメなのよ。	47.7%	2 褒める言葉 例) すごいね。	35.8%
3 友人と比較される言葉 例) 〇〇ちゃんは成績あがったんだって。	47.7%	3 能力を認められる言葉 例) 能力はあるんだから。	29.0%
4 我慢を強要する言葉 例) ゲームは1日30分までにしなさい。	29.5%	4 励ましの言葉 例) 頑張っ。	27.6%
5 親の言葉で自分のやる気に変化はない。	15.9%	5 親の言葉で自分のやる気に変化はない。	22.4%
6 先生を責める言葉 例) あの先生は教え方が下手なのよ。	12.2%	6 目標を思い起させる言葉 例) 〇〇になるためだもんね。	18.8%
- その他	5.1%	- その他	4.0%

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「すららネット調べ」とご明記下さい。

NEWS RELEASE



2) 成績アップのご褒美で欲しい物、TOP3「お金」・「おもちゃ類」・「本」!

成績アップでもらいたいご褒美の TOP3 は、「お金」(53.1%)、「おもちゃ類」(28.4%)、「本」(23.9%)という結果となりました。性別では、男子の TOP3 は「お金」(51.1%)、「おもちゃ類」(31.7%)、「本」(19.9%)で、女子の TOP3 は「お金」(55.4%)、「褒め言葉」(34.3%)、「本」(28.3%)となり、男女とも「お金」と「本」は共通ですが、男子は「おもちゃ類」、女子は「褒め言葉」が入っている点が異なります。3 割以上の女子が「褒め言葉」と回答していることから、総合でも 4 位にまでランクインしています。

一方、実際、成績アップした時のご褒美は「もらっていない」(38.6%)が最も多く、次いで「褒め言葉」(29.0%)、「お金」(22.2%)という結果となりました。『もらっていない』および『褒め言葉』のみ・『賞状』のみの総計は 51.4%で、ご褒美で“モノ”をもらっている子と、もらっていない子はちょうど半数ずつと言えます。

現状、成績アップのご褒美は「もらっていない」が最も多いですが、女子の成績アップのご褒美として欲しい物 TOP3 に「褒め言葉」が入っていることから、ご褒美として何もあげないのではなく、褒めてあげることだけでも、子どもたちのモチベーションアップにつながると思います。

■結果:「成績アップをしたら、どんな物をもらいたいですか?」の回答(複数回答)

【総合】

	回答項目	%
1	お金	53.1%
2	おもちゃ類	28.4%
3	本	23.9%
4	褒め言葉	22.4%
5	お出かけ	18.8%
6	いない	12.5%
7	食べ物	11.1%
8	賞状	4.0%
-	その他	8.8%

【男子】

	回答項目	%
1	お金	51.1%
2	おもちゃ類	31.7%
3	本	19.9%
4	いない	16.1%
5	ほめ言葉	11.8%
6	お出かけ	10.8%
7	食べ物	8.6%
8	賞状	2.7%
-	その他	9.7%

【女子】

	回答項目	%
1	お金	55.4%
2	褒め言葉	34.3%
3	本	28.3%
4	お出かけ	27.7%
5	おもちゃ類	24.7%
6	食べ物	13.9%
7	いない	8.4%
8	賞状	5.4%
-	その他	6.6%

■結果:「成績アップにより、どんな物をもらったことがありますか?」の回答(複数回答)

	回答項目	%
1	もらっていない	38.6%
2	褒め言葉	29.0%
3	お金	22.2%
4	おもちゃ類	18.5%
5	食べ物	12.5%
6	本	11.1%
7	お出かけ	6.3%
8	賞状	2.6%

「もらっていない」および「褒め言葉」のみ・「賞状」のみの総計 51.4%

3) 親が妨げ、4 割以上!

親が勉強の妨げだと思ったことが「ある」との回答が 46.0%となり、4 割を越える結果となりました。「ある」の回答者に、どんな点が邪魔か質問したところ、“お風呂掃除して。”等の「家の手伝いを言いつけられる。」(42.6%)が最も多く、次いで、「勉強を中断して、風呂や食事をするよう指示する。」(38.3%)、“そんな志望校無理だよ。”等の「(あなたの)能力の限界を決める発言をする。」(37.0%)という結果でした。

子どもには勉強して欲しい、と思っているのに、気付かぬうちに邪魔していることがあるのかもしれませんが、家の手伝いや風呂・食事のために勉強を中断させることは、ある程度仕方ないかもしれませんが、3 位の「能力の限界を決める発言をする」ことも、子どもの勉強の邪魔となっているようです。成績が芳しくない子どもの大半は、勉強の仕方が分からなかったり、純粋に勉強量が足りなかったり、ということが原因になっていることもあるので、勝手に子どもの能力に限界を設け、やる気を削ぐような邪魔をしないよう、気を付けたいものです。

■結果:「親が勉強の妨げだと思ったことはありますか?」の回答(単数回答)

	回答項目	%
1	ある	46.0%
2	ない	52.0%
-	無回答	2.0%

■結果:「【「ある」と回答した方対象】どのような点が妨げですか?」の回答(複数回答)

	回答項目	%
1	家の手伝いを言いつけられる。	42.6%
2	勉強を中断して、風呂や食事をするよう指示する。	38.3%
3	(あなたの)能力の限界を決める発言をする。	37.0%
4	TVや大きな話声などのうるさい音をたてる。	35.8%
5	勉強中におしゃべりしようと話しかけてくる。	27.8%
6	甘やかす発言をする。	12.3%
-	その他	5.6%

4) 勉強で頼りにするのは「家族」より「塾や学校の先生」・「友達」!

勉強において一番頼りにしている人を聞いたところ、TOP3 は、「塾の先生」(33.5%)、「学校の先生」(18.2%)、「友達」(17.9%)という結果で、子どもは身近な家族よりもプロである塾や学校の先生、友達を頼りにしているようです。家族間で見てみると、一番頼りにされているのは「母親」(9.1%)であり、「父親」(5.7%)より 1.5 倍近く割合を伸ばしています。

■結果:「勉強において、あなたが一番頼りにしているのは誰ですか?」の回答(単数回答)

	回答項目	%
1	塾の先生	33.5%
2	学校の先生	18.2%
3	友達	17.9%
4	母親	9.1%
5	父親	5.7%
6	兄弟姉妹	3.7%
7	その他	9.1%
-	無回答	2.8%

5) 小中高生の隠れ勉強率 3 割以上!

テスト前に勉強したにもかかわらず、勉強したことをクラスメートに隠すことがあるかという問いでは、「ある」が 34.4%という結果となり、3 割以上の小中高生が隠れ勉強していることが明らかとなりました。性別では、「ある」との回答が男子は 36.0%、女子は 32.5%となり、わずかながら、男子のほうが秘密主義な傾向があるようです。

テスト前に勉強してない、と言っておきながら、テストで良い点を取る人がいるということも、昔から耳にしますが、現代の小中高生においても 3 割以上が勉強していることをクラスメートに隠すことがあるようです。

■結果:「テスト前に勉強したにもかかわらず、勉強したことをクラスメートに隠すことはありますか?」の回答(単数回答)

	回答項目	%
1	ある	34.4%
2	ない	63.9%
-	無回答	1.7%

6) 勉強を教えて欲しい芸能人、男性は「櫻井翔(嵐)」、女性は「ローラ」

勉強を教えて欲しい芸能人、男性 TOP3 は「櫻井翔(嵐)」(25.9%)、「宇治原史規(ロザン)」(23.3%)、「中田敦彦(オリエンタルラジオ)」(10.5%)に、女性 TOP3 は「ローラ」(33.2%)、「宮崎美子」(14.2%)、「菊川怜」(7.7%)という結果になりました。

男性はアイドルでありながら、報道番組のキャスターも務める櫻井さんを筆頭に、クイズ番組で活躍中の宇治原さんや中田さんなど、全て高学歴の方が上位にきているようです。女性は、外国語も話せて楽しく勉強を教えてくださいなローラさん、クイズ番組で活躍中の宮崎さん、高学歴で情報番組のキャスターも務める菊川さんと、様々なジャンルの方がランクインされました。

NEWS RELEASE



■結果:「勉強を教えて欲しい芸能人は誰ですか?【男性編】」の回答 TOP5 (単数回答)

	回答項目	%
1	櫻井翔(嵐)	25.9%
2	宇治原史規(ロザン)	23.3%
3	中田敦彦(オリエンタルラジオ)	10.5%
4	向井理	9.1%
5	小島よしお	5.4%

■結果:「勉強を教えて欲しい芸能人は誰ですか?【女性編】」の回答 TOP5 (単数回答)

	回答項目	%
1	ローラ	33.2%
2	宮崎美子	14.2%
3	菊川怜	7.7%
4	トリンドル玲奈	7.4%
5	ももち(嗣永桃子:Berryz工房)	5.1%

<調査概要>

- 1) 調査名 :「小中高生の勉強に関する意識調査」
- 2) 調査方法 :eラーニング教材「すらら」のログイン画面にて回答を得た
- 3) 調査対象 :小学1年生から高校3年生までの男女
- 4) 調査期間 :2012年12月28日~2013年1月10日
- 5) 有効回答数:352名<男性:52.8%・女性:47.2%、小学生:13.9%・中学生:80.7%・高校生:5.4%>

■eラーニング対話型アニメーション教材「すらら」とは

【学習範囲】中学1年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】英語・数学・国語

【ユーザー数】20,000名(2012年1月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにとどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、eラーニングだからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

＜参考＞これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型:カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ

「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。

2. 問題集型:問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ

「定着」にはすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。

3. ゲーム型:携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ

非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の“次世代型教育システム”です。



■ 株式会社すららネット 会社概要

- 設立: 2008年8月
- 資本金: 6,285万円
- 所在地: 東京都千代田区内神田
- 事業内容: eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL: <http://surala.in/>
- Facebook公式アカウント: <http://www.facebook.com/suralanet>
- Twitter公式アカウント: https://twitter.com/surala_staff